

# 奈良県観光戦略本部について (第1回本部会議用資料②)

令和6年5月15日(水)  
奈良県観光局観光戦略課

# 奈良県観光戦略本部について

## <設置の趣旨>

観光に関わるビジネス・プロフェッショナルをはじめとする**民間の知見**を活かし、奈良県の**観光GDPの飛躍的かつ持続的な拡大**を目的として、観光政策を機動的かつ戦略的に推進することにより、**奈良県経済の発展**を図る。

## <観光戦略本部の成果目標>

観光戦略本部では、従来のような理念的・総合的な計画を策定することを目標とするのではなく、県内の各エリアの観光地としての魅力を向上させ、かつ、それぞれの**エリアにふさわしい実践的な施策を推進**することを目標とする。

# 奈良県観光戦略本部について

## <観光戦略本部の構成>

本部には、「**本部会議**」及び「**部会**」を設置。本部会議で、部会の設置を決定。

### 本部会議

「本部会議」は、各部会の検討状況等について適宜報告を受けるほか、県全域を俯瞰した全体的な議論や部会における重点的な取組の整理等を行う。

### 部会

「部会」は、それぞれのテーマに基づき、課題やあるべき将来像、それに向けた取組の方向性等について議論を行うとともに、具体的かつ実践的な施策について検討を行う。検討の状況に応じて、適宜本部会議に対して報告を行う。

## 第1回本部会議において設置する部会

- ①近鉄奈良駅・新大宮駅・JR奈良駅周辺エリア
- ②平城宮跡周辺エリア
- ③中部エリア（○斑鳩 ○山の辺の道 ○飛鳥・藤原）
- ④南部・東部エリア（○吉野・天川 ○金剛・葛城 ○十津川村 ○宇陀）

※ 世界遺産や優れた自然、主要な歴史文化施設等がある**上記エリアを重点エリア部会として設置。**

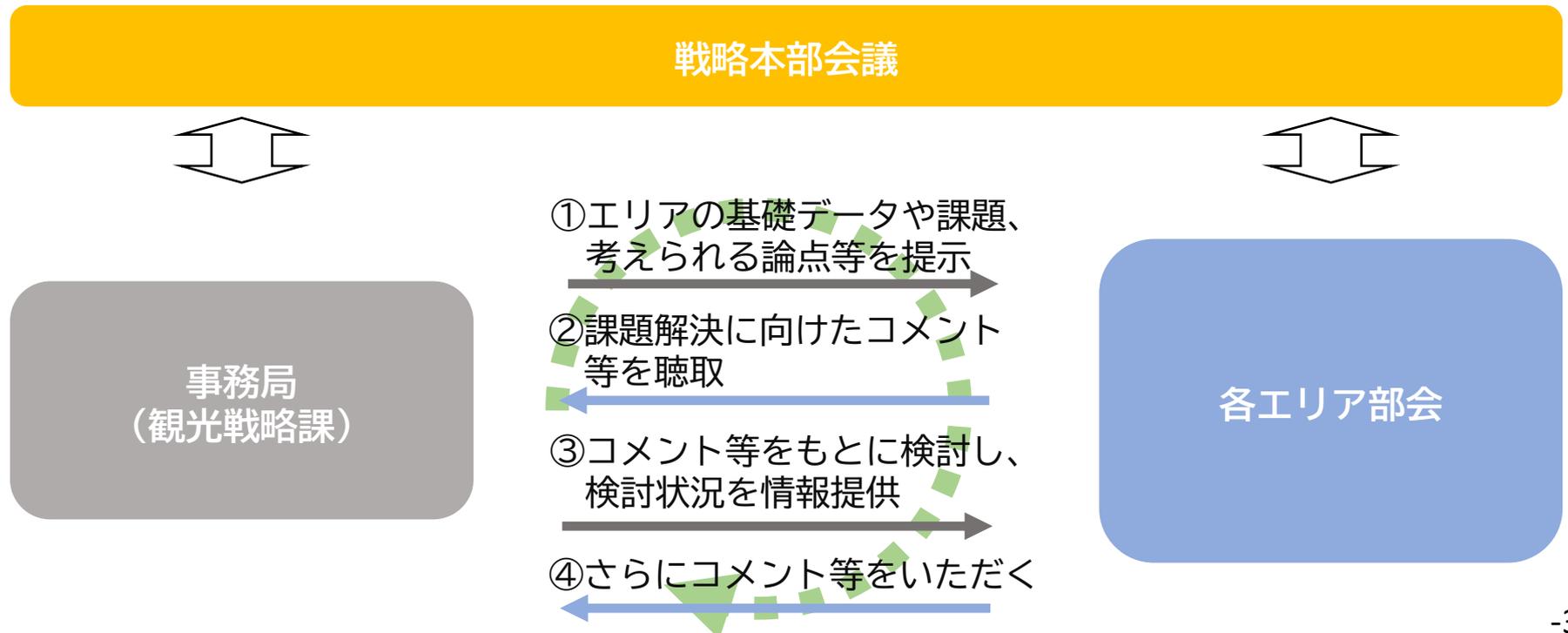
※ ③・④の部会については、当面の間、一体的に運営するものとする。

# 奈良県観光戦略本部について

## <進め方>

部会において、事務局側から統計等のデータやエリアの課題、論点等を提起。それに対し部会のメンバーからコメントやアイデアを聴取。そのコメント等をもとに、事務局で課題解決の検討を進め、検討状況をメンバーにフィードバック。さらにコメント等を聴取し、ブラッシュアップを重ねる。

こうして得られた検討結果を取りまとめ、本部会議に報告、本部会議では、県全域を俯瞰した全体的な議論を進める。 ※会議後は、会議の概要を作成



# 奈良県観光戦略本部について

## < 令和6年度前半のスケジュール（予定） >

### 【本部会議】

5/15（水） 第1回本部会議を開催（基本的な方向性の提示、部会の設置等）

### 【各部会】

1st ラウンド 事務局側から統計等のデータやエリアの課題、論点等を提起  
部会メンバーからのコメントやアイデアを聴取

事務局で取組案の検討を行う

2nd ラウンド 事務局から検討した取組案を提示  
部会メンバーから、取組案へのコメント等を聴取

事務局でコメント等を基に取組案のブラッシュアップを行う

3rd ラウンド 事務局からブラッシュアップした取組案を提示  
部会メンバーから、取組案へのコメント等を聴取

事務局でコメント等を基に取組案の更なるブラッシュアップを行う

ヒアリング対象  
メンバーから順  
番にコメント等  
をもらう  
（コンサルテー  
ションマラソン  
形式）

### 【本部会議】

部会での議論の状況について、本部会議で共有し、メンバーからコメント等を聴取  
観光政策の基本的な方向性や部会での重点的な取組を整理

本部会議でのコメントも踏まえ、事務局で来年度の取組に反映

# 奈良県観光戦略本部について

<数値目標 (KPI) (2030年度) >

<参考>  
2019年

- **観光消費額** **4,200億円** (1,807億円)
- **一人当たりの観光消費額**
  - (宿泊) **31,000円** (24,807円)
  - (日帰り) **6,000円** (4,569円)
- **延べ宿泊者数** **500万人** (273万人)

# 奈良県観光戦略本部について

## <本部会議委員名簿>

本保 芳明	初代観光庁長官 / 国連世界観光機関駐日事務所代表	本部長
湯山 壮一郎	奈良県副知事	副本部長
柘田 齐志	奈良県政策参与（観光振興担当）	副本部長代理
尾久土 正己	奈良県立大学学長	
高野 雅臣	(株) クリル・プリヴェ 創業者&CEO	
野沢 弘樹	Park Line推進協議会 会長代行 / 一般社団法人 日本地域国際化推進機構 理事	
堀井 清孝	やまとびと (株) 代表取締役	